

森林科学

教 科	農 業	単 位 数	4 単 位	学 科・学 年	森林科学科・3年（選択）
使用教科書	森林科学（実教出版）				
副教材など	プリント・作成資料等				

科目の概要、到達目標

○森林の育成や保全、木材の生産に関する知識や技術を学び、森林の役割や生態についての理解を深めます。
 ○森林の機能や役割、森林管理の意義について理解し、森林の適正な保全管理と利用に関する知識と技術を学び、森林を総合的に活用する力を養います。

学習計画、自己評価

期	月	学 習 内 容	学習のねらい	自己評価		
前 期	4	1 森林の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・森林の伐採と更新 ・治山の意義、歴史 	<ul style="list-style-type: none"> ・森林の伐採や更新方法を理解する。 ・治水三法、治山工事の歴史を理解する。 	()	
		2 山地の保全 ・山地の荒廃				
	5	3 森林の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・林木の育苗方法 	<ul style="list-style-type: none"> ・苗木の育成方法に関する知識と技術を理解する。 ・侵食輪廻の過程、侵食との関係を理解する。 	()	
		4 山地の保全				
	6	5 森林の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・造林の実際 	<ul style="list-style-type: none"> ・造林計画、管理方法を思考し、提案することができる。 ・各災害発生の仕組みとその要因を理解する。 	()	
		6 山地の保全				
	7	8	7 森林の保育と保護 ・森林の保育作業	<ul style="list-style-type: none"> ・山崩れ、地すべり ・土砂の移動 	<ul style="list-style-type: none"> ・森林の保育作業である下刈り、つる切り、除伐、枝打ち、間伐について、その理論と具体的な方法について理解する。 	()
8	9	8 山地の保全 ・水の循環 ・溪流工事	<ul style="list-style-type: none"> ・水循環に果たす森林の役割 ・溪流工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・水循環と森林の果たす役割を考えることができる 	()	
						10
後 期	10	9 森林の保育と保護 ・森林の保育作業	<ul style="list-style-type: none"> ・間伐のメソッド 	<ul style="list-style-type: none"> ・間伐の指針、密度管理の計画を立案することができる。 	()	
		10 山地の保全 ・山腹工事				
	11	11	11 森林の保育と保護 ・林地の保育	<ul style="list-style-type: none"> ・山腹工事、緑化工 	<ul style="list-style-type: none"> ・崩壊地における様々な工法の特徴とその効果を理解する。 	()
	12	1	12 山地の保全 ・地すべり防止工事 ・林道と作業道	<ul style="list-style-type: none"> ・土壌と下層植生の維持 ・混交林・複層林の育成 ・肥料木の利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・林地保育の方法について、土壌の肥沃化や森林災害防止、公益的機能の発揮など様々な観点から理解する。 	()
1	2	13 森林の保育と保護 ・森林の保護	<ul style="list-style-type: none"> ・地すべり防止工事とその工法 ・林道と作業道の役割、林道計画と設計 	<ul style="list-style-type: none"> ・抑止工、抑制工の種類とその目的を理解する。 ・林道の種類、構造を知り、単曲線の設計ができる。 	()	
						2
2	2	14 山地の保全 ・林道と作業道	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の森林破壊 ・日本の森林被害 ・路面、擁壁、排水工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の森林破壊の現状や日本の森林被害の原因を探り、これからの森林管理の在り方を模索する。 ・土工に必要な各作業工程を理解する。 	()	

評価の観点、方法

○観点別評価
 a 知識・技能（技術） b 思考・判断・表現 c 主体的に学習に取り組む態度
 ○観点別評価の方法
 定期考査、授業での行動観察、提出物（課題プリント・授業ノート）、振り返りシート、パフォーマンステスト、発表などによって、ABCの3段階で評価します。
 ○観点別評価を均等に総括して評定（5段階）を決めます。

定期考査の範囲、課題

前 期	中間考査範囲	
	期末考査範囲	
後 期	夏休みの課題	
	中間考査範囲	
後 期	学年末考査範囲	
	冬休みの課題	